

金子窯 金子 認さん、晃久さん

古武雄探訪

「技術を受け継ぐ作家たち」

明治初期にかけて最も栄えた多々良地区の焼き物づくり。その土地に伝わるのは、朝鮮から伝わった叩き技法です。

叩き技法とは、土台をつくったところに紐状にした土を重ねていき、ある程度の高さになったら、専用の叩き具「シュレイ」と「トキヤ」を使って叩き締めていく技法で、古くから甕作りの技法として伝わってきました。多々良地区特有の粘りがある質の良い陶土は、特に甕づくりに適しており、この地区での叩き技法の発展を支えてきたと言われます。

金子認（みとむ）、晃久（てるひさ）親子で営む金子窯は、現代に叩き技法を受け継ぐ作家で、昭和48年に文化庁より指名され、叩き技法の復活と継承を担う窯元として独自の発展を続けてきました。

例えば叩き技法を施した、いわゆる「甕」以外にも、味噌甕にアレンジを加えて傘たてに、水甕を改造して花器に、など工夫をこらして現代にも使いやすい叩き技法の作品を提案しています。また叩き技法以外にも、粉引や釉薬の二重かけなどの装飾を施した、より日常的に使いやすい

い食器の製作にも取り組んでおられます。

庭先でよく目にする甕のフォルムを残した、どこか懐かしい雰囲気の商品からシンブルでモダンな食器まで、幅広い表情が楽しめる金子窯の作品たちは、どれも土のぬくもりを感じます。

今後ますます変わらぬ叩き技法を伝承していくことに加え、釉薬の自由な組合せによりデザイン性を高めた作風を目指したいという夢を語る金子親子。これからもその活躍に期待が高まります。



金子 晃久さん
昭和 57 年有田工業高校窯業科卒業
県展入選 3 回
日本伝統工芸展入選 3 回
一水会入賞
九州山口展入選



▲シュレイ、トキヤを使用した叩き技法の様子



◀叩き技法による作品

有料広告

ご注意！台所つまりや悪臭の原因は クリーンますの掃除忘れかも？

一般家庭で下水道料をお支払いのご家庭には台所の排水の先にクリーンますと言うマスが設置されています。このマスは、油分等を流さないため付けてあるので定期的お掃除が必要です。掃除をしなければ詰まったり、悪臭が上がって来たりします。みなさん掃除をしましょう



おそうじ当番
ゴン太くん

定期清掃月 2,000 円 / 月 ~ 詳細はお電話ください

ご年配の方 依頼急増中！ クリーンます専門 武雄市役所山内支所裏 三間坂甲 13692 ☎45-6095

有料広告

集団予防接種によりB型肝炎ウイルスに持続感染された方へ、一人で悩まずに無料個別相談会をご利用ください。

B型肝炎訴訟 (給付金請求) について 無料個別相談会

2/11 (土) 伊万里市民センター 第5会議室
伊万里市松島町391-1

2/12 (日) 武雄市文化会館 講習室
武雄市武雄町大字武雄5538-1

2/26 (日) 鹿島市民会館 1F サロン
鹿島市大字納富分2643-1

対象者 昭和 16 年 7 月 2 日 ~
昭和 63 年 1 月 27 日 生まれ

給付金 50 万円 ~ 3,600 万円

弁護士費用 着手金・相談料 無料
成功報酬制 ※訴訟実費別途

完全予約制

☎ 0120-013-621
〈ご予約受付時間〉平日 9:00~18:00

個別面談なので、他の方と顔を合わせることはありません。

無料電話相談も同時受付中！ お気軽に
お電話下さい。

弁護士法人
プレシヤス総合法律会計事務所

弁護士 齋庭亨一「あいば こういち」 東京都新宿区四谷4-3 福屋ビル6-A
東京弁護士会所属 登録番号 35029 【営業時間】 平日 9:00~18:00

TEL 03-5363-6333 E-mail: info@precious-law.jp
FAX 03-5363-6334 http://precious-law.jp/